

## 受賞者からのコメント

対象：保健医療学部看護学科 3年
保健医療学部看護学第二講座 講師 荻田 珠江
<p>「授業を行うにあたって工夫していること」</p> <p>学生が実習やその後の看護実践で、「あの講義の内容はこういうことだったのか」と理解の深化を実感できるような講義・演習にしたいと思っています。その実感が次の興味・関心、探究心につながると考えるからです。そのため学内で学習したことが、実際の看護場面で関連づけられるように、この知識がどのような場面で活用でき、この技術がどのような時に必要となるかについて具体的かつ詳細に伝え、学生がイメージできるようにしています。加えて、私が病院に勤務していた時に実際に経験したことを伝えると、学生がとても興味を示してくれるので、うまくいって嬉しかったことや失敗談、そしてそれはなぜうまくいったのか、失敗したのか、自分の考察も交えて説明するようにしています。</p>
<p>「学生への要望・アドバイス等」</p> <p>みなさんが、実習で講義・演習で使用したプリントを活用しているのを見ると、嬉しく思います。講義・演習内容が忘れ去られているときは、残念な思いと同時に、自分の説明不足を反省することもあります。学習は、私とみなさんの双方向のやり取りで、さらに深まり広がります。質問や感想、活発な意見交換を通して、学生として、教員として、お互い学びを深めていきましょう。</p>